

一般社団法人日本医療薬学会
2021年度第2回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2021年5月31日（月） 13時30分～17時00分

二．開催場所： インターネットを介したウェブ会議（Zoomを利用）

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 武田 泰生、山田 安彦、山本 康次郎

理 事： 石井 伊都子、石澤 啓介、出石 啓治、吉光寺 敏泰、崔 吉道、
齋藤 秀之、齋藤 嘉朗、鹿村 恵明、田崎 嘉一、寺田 智祐、
富岡 佳久、村木 優一、百瀬 泰行、矢野 育子

監 事： 大森 栄、佐々木 均、望月 眞弓

陪席者

顧 問： 木平 健治、安原 眞人、山本 信夫、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、大湊 宏味

欠席者

理 事： 大谷 壽一、河原 昌美

顧 問： 五十嵐 邦彦

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2021年度第1回定例理事会議事録の確認

議長より、2021年3月2日に開催された2021年度第1回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

2. 第13回定時社員総会議事録の確認

議長より、2021年3月20日に開催された第13回定時社員総会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

3. 協議事項

(1) 2021年度各学会賞受賞者選考

1) 功績賞授賞者の決定

議長より、功績賞受賞候補者として、規程に則り審議した結果、今年度は該当者がいないことが報告された。また、今後の受賞対象者の情報が共有された。

2) 振興賞授賞者の決定

議長より、功績賞・振興賞選考委員会において、今年度の振興賞授賞候補者として本理事会に2名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の2氏への振興賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・相羽 恵介 氏 (戸田中央総合病院)
- ・中澤 一純 氏

3) 日本医療薬学会賞授賞者の決定

武田副会長より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の日本医療薬学会賞授賞候補者として、本理事会に1名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、井関氏への日本医療薬学会賞授与が了承された。

- ・井関 健 氏 (北海道医療大学)

4) 学術賞授賞者の決定

武田副会長より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の学術賞授賞候補者として、本理事会に2名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の2氏への学術賞授与が了承された。

- ・今村 知世 氏 (昭和大学 先端がん治療研究所)
- ・川上 和宜 氏 (公益財団法人がん研究会有明病院)

5) 奨励賞授賞者の決定

武田副会長より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の奨励賞授賞候補者として、本理事会に3名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。また、今回5名より応募があったこと、学会への貢献度をどのように量るかが次回への課題であることが説明された。協議した結果、次の3氏への奨励賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・池村 健治 氏 (大阪大学医学部附属病院)
- ・今井 俊吾 氏 (北海道大学大学院薬学研究院)
- ・平井 啓太 氏 (静岡県立大学)

6) Postdoctoral Award 授賞者の決定

武田副会長より、学術関連賞選考委員会(及びPostdoctoral Award 選考小委員会)において、今回の応募者27名に係る選考を進めた結果、今年度のPostdoctoral Award 授賞候補者として、本理事会に10名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。また、崔理事より、規程上は複数名の推薦が必要であるが、多くの推薦者を

付けて応募されると COI の関係上選考委員が少なくなってしまう、選考に支障が生じるため、規程の変更が必要ではないかという提案があり、改めて学術関連賞選考委員会で協議を行うこととなった。協議した結果、次の 10 氏への Postdoctoral Award 授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・相澤 風花 氏 (徳島大学病院)
- ・石川 修平 氏 (北海道大学病院)
- ・石原 慎之 氏 (島根大学医学部附属病院)
- ・公文代 将希 氏 (東北大学病院)
- ・柴田 海斗 氏 (浜松医科大学医学部附属病院)
- ・成田 勇樹 氏 (熊本大学病院)
- ・二木 悠哉 氏 (金沢大学附属病院)
- ・馬淵 賢幸 氏 (同志社女子大学)
- ・水野 貴仁 氏 (公立陶生病院)
- ・山崎 伸吾 氏 (千葉大学医学部附属病院)

7) 論文賞受賞論文の決定

議長より、論文賞については現在選考を進めているため、次回の理事会に諮ることが説明された。

(2) 2021 年度名誉会員委嘱候補者の推薦

議長より、2021 年度の名誉会員の委嘱候補者として、名誉会員推薦内規に則り審議した結果、次の 2 名を推薦候補として推挙したことが説明された。協議した結果、本件は了承され、第 13 回臨時社員総会に名誉会員の委嘱候補者として諮ることとした。(以下、五十音順)

- ・大森 栄 氏
- ・望月 眞弓 氏

(3) 慶弔規程の策定

石澤理事より、慶弔規程案について説明があった。文言についていくつかの指摘があったことから総務委員会で若干の検討を行うことが必要ではあるが、当該規程案は了承された。また、本規程の適用については過去には遡らず 2021 年 6 月 1 日から施行することとなった。

(4) 共催・後援に関する取扱細則の改正

石澤理事より、共催・後援に関する取扱細則の改正について説明があった。具体的には、従来、後援に関する取扱いのみの記載であったものに、共催に関する取扱いを追加したものであり、当該取扱細則の改正は了承された。

(5) 創立 30 周年記念事業に係る報告、協議

山田副会頭より、創立 30 周年記念事業に関する現状報告があった。また、東京都

の緊急事態宣言が延長されたことから、同宣言中の6月5日に予定されている座談会の延期を含めた開催方法のあり方についての意見伺いがあり、協議した結果、緊急事態宣言が明けた後の6月末から7月初旬へ延期をすることとなった。

(6) 2022-2023年度役員候補者選挙のスケジュール案

石澤理事より、2022-2023年度役員候補者選挙のスケジュール案について説明があった。協議した結果、本スケジュール案は了承された。

(7) 2021年度医療薬学学術小委員会の採択

齋藤（秀）理事より、2021年度医療薬学学術小委員会の採択について、今回は4件の応募があり、医療薬学学術小委員会で審議した結果、2件を採択可能とすること及び採択の理由の説明があった。協議した結果、当該2件を採択することが了承された。

・採択案件(1)

研究代表者 須永登美子（昭和大学藤が丘病院 薬剤部）
研究課題名 臨床業務における薬剤師による有害事象報告教育基盤の構築
研究期間 3年

・採択案件(2)

研究代表者 渡邊 裕之（医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 薬剤部）
研究課題名 免疫チェックポイント阻害薬の多施設共同患者レジストリを用いた、免疫関連有害事象の早期発見に資する研究
研究期間 3年

(8) 2021年度各専門薬剤師認定制度における受験資格審査及び認定審査結果

1) 2021年度医療薬学専門薬剤師制度の受験資格審査及び新規認定審査結果

百瀬理事より、医療薬学専門薬剤師、同制度研修施設の新規認定申請に係る医療薬学専門薬剤師認定委員会での審議結果に係る説明があった。

1)-1 医療薬学専門薬剤師（新規・暫定）の受験資格審査

医療薬学専門薬剤師の新規暫定認定申請に22名より申請があり、医療薬学専門薬剤師認定委員会で書類審査を実施した結果、全22名が専門薬剤師認定試験の受験資格を有していると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-2 医療薬学専門薬剤師（新規・正規）の受験資格審査

医療薬学専門薬剤師の新規正規認定申請に22名より申請があり、医療薬学専門薬剤師認定委員会で書類審査を実施した結果、20名が専門薬剤師認定試験の受験資格を有していると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-3 医療薬学専門薬剤師研修施設（新規）の認定審査

医療薬学専門薬剤師研修施設の新規認定申請に57施設より申請があり、医療

薬学専門薬剤師認定委員会で審査を実施した結果、全 57 施設（基幹施設 39 施設、連携施設 18 施設）の新規認定が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。なお、認定日は 2021 年 6 月 1 日、認定期間は 2021 年 1 月 1 日から 5 年間である。

2) 2021 年度薬物療法専門薬剤師制度の受験資格審査及び新規認定審査結果

石井理事より、薬物療法専門薬剤師、同制度研修施設の新規認定申請に係る薬物療法専門薬剤師認定委員会で審議結果に係る説明があった。

2)-1 薬物療法専門薬剤師（新規）の受験資格審査

薬物療法専門薬剤師の新規認定申請に 27 名より申請があり、薬物療法専門薬剤師認定委員会で書類審査を実施した結果、全 27 名が専門薬剤師認定試験の受験資格を有していると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

2)-2 薬物療法専門薬剤師研修施設（新規）の認定審査

薬物療法専門薬剤師研修施設の新規認定申請に 49 施設より申請があり、薬物療法専門薬剤師認定委員会で審査を実施した結果、全 49 施設（基幹施設 43 施設、連携施設 6 施設）の新規認定が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。なお、認定日は 2021 年 6 月 1 日、認定期間は 2021 年 1 月 1 日から 5 年間である。

(9) 2021年度がん専門薬剤師認定試験の合否判定及び認定結果

本年5月23日（日）に実施した2021年度がん専門薬剤師認定試験には、2020年度の書面審査（受験資格審査）の合格者78名、改正前のがん専門薬剤師認定制度規程細則の第2条の2が適用され、2019年度のがん専門薬剤師認定試験に不合格となり、今回、再受験が認められた7名および2021年度の書面審査（受験資格審査）の通過者38名（計123名）のうち、新型コロナウイルス感染対策のための特別措置による2022年度への振替希望19名、辞退者1名、欠席1名を除いた102名が受験した。がん専門薬剤師試験小委員会において合否判定を行い、結果についてがん専門薬剤師認定委員会で審議を行った結果、85名を合格と判定し、その内61名をがん専門薬剤師として認定すること、24名に対し症例審査を実施することが説明された。また、不合格者のうち6名は、改正前のがん専門薬剤師認定制度規程細則の第2条の2が適用され、次年度の認定申請の際に書面審査が免除され再受験できることが説明された。協議した結果、了承された。なお、上記の新規認定に係る認定日は2021年6月1日、認定期間は2021年1月1日から5年間である。

(10) 専門薬剤師制度の運営に係る審議・報告

寺田理事より、専門薬剤師の認定申請におけるWEBシステム導入に係る構築費用及びスケジュールが説明された。続いて、専門薬剤師・指導薬剤師及び研修施設の認定日を現在の1月1日から4月1日に変更することについてスケジュール

案を基に説明があり、協議した結果、了承された。また、日病薬が新設するがん薬物療法専門薬剤師についての概要が紹介された。本制度については、お互いの会員にとって不利益にならないこと、社会（患者）から見て位置づけが分かりやすいこと等の観点から、今後、両団体間で運営の整合性について協議を図っていくことが了承された。

(11) がん専門薬剤師研修小委員会委員の追加委嘱

山本副会頭より、がん専門薬剤師研修小委員会が企画しているWebを活用したセミナーの開催を検討するにあたり同様の研修会運営に詳しい宇野裕基先生（金沢市立病院）を委員に追加することについて説明があった。協議した結果、了承された。

(12) 事務局職員の勤務体制の変更

石澤理事より、現在コロナ禍における感染対策の一環として、試験的に運用している事務局職員の在宅勤務及び時差出勤について、特段の問題が生じていないことから、常態的に週に数日の在宅勤務とフレックスタイム制の導入を検討することについての意見伺いがあった。協議した結果、当該導入に向けた具体的な検討を進めることについて了承された。

(13) 諸規程類の公表方法に係る検討

石澤理事より、本学会の諸規程類の公表方法について整理した一覧が示され、説明があった。協議した結果、了承された。

(14) 会費の遡及納入に係る嘆願への対応

田崎理事より、前年度会費の遡及の嘆願 5 件についての説明があり、協議した結果、全 5 件の嘆願を了承することとなった。

(15) その他

1) 第35回年会（2025年度開催）の年会長候補者について

富岡理事より、第35回年会の年会長候補者として矢野育子氏（神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長）を推薦したこと及び同年会長への就任を依頼したところ同意が得られたことより、同氏が第35回年会長に決定したことが報告された。

2) 2021年度海外研修等助成員募集

矢野理事より、2021年度海外研修等助成員募集について、締切日を延長して申請受付を行っていたが期日までに応募が無かったことが報告された。

4. 報告事項

(1) メール審議による理事会審議の結果報告

事務局より、前回理事会以降にメール審議された案件の概要と審議結果が報告

された。

- ・2020年度がん専門薬剤師制度 新規申請に係る認定試験の受験資格審査結果
- ・2021、2022年度医療薬学公開シンポジウムの開催地・実行委員長
- ・2020年度がん専門薬剤師制度 新規申請に係る認定試験の受験資格審査結果（追加審議）
- ・薬剤師認定制度認証機構からの役員候補者推薦依頼への対応
- ・2021年度がん専門薬剤師制度 新規申請に係る認定試験の受験資格審査結果
上記5件の審議については、全て了承されたことが報告された。

(2) 第31回年会（熊本）準備状況報告

齋藤年会長より、本年10月に開催される第31回年会についての準備状況が報告された。

(3) 第29回年会演題抹消の依頼、対応

議長より、鳥取大学医学部附属病院より倫理指針の逸脱に該当するため第29回年会において発表された演題について抹消依頼があったことが報告された。本件については、J-STAGE及びメディカルオンラインに対して掲載の取り下げを依頼したことが報告された。

(4) 2021年度各表彰選考小委員会の編成

武田副会頭より、各小委員会の委員名簿が提示された。Postdoctoral award 選考小委員会については、審査の範囲が広いためより多くの委員が必要である旨が説明された。

(5) 第4回フレッシューズ・カンファレンスの開催

山田副会頭より、本年6月7日（月）～13日（日）にオンラインで開催される第4回フレッシューズ・カンファレンスに関する準備状況が報告された。

(6) 2021年度医療薬学公開シンポジウム開催計画（第81,82回）

富岡理事より、2021年度医療薬学公開シンポジウム（第81,82回）の開催計画が報告された。

(7) 第1回臨床研究セミナー実施・収支報告、受講者アンケート

矢野理事より、本年4月18日（日）に開催された第1回臨床研究セミナーに係る実施概要、収支状況並びに受講者アンケートの結果が報告された。

(8) 第8回がん専門薬剤師全体会議実施報告

山本副会頭より、本年5月8日（土）に開催された第8回がん専門薬剤師全体会議に係る実施概要、収支状況が報告された。

(9) 研修会収支報告

事務局より、がん専門薬剤師集中教育講座（日病薬主催）・薬物療法専門薬剤

師集中講義に係る収支状況が説明された。

(10) 日本腎臓学会・がん薬物療法時の腎障害GLの改訂進捗

寺田理事より、「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン」の改訂について、進捗が説明された。

(11) 後援依頼への対応

議長より、本学会への後援依頼があった「くすりのエキスパートが語る“よくわかる新型コロナウイルスワクチン”」、「第21回臨床腫瘍夏期セミナー」、「ACCP2022」の後援申請を承諾したことが報告された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時に閉会を宣言し、解散した。